



学校通信

令和5年度 第12号
令和6年 3月22日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

おかげさまで

校長 岡部 良美

開進第三小学校の校長となり、6年目が過ぎようとしています。思い返すとたくさんすばらしい思い出があります。私は4点の大きな感謝の気持ちをもっています。

第一は、子供たちへです。毎朝、元気なあいさつをして登校してきます。正門や南門で、元気をたくさんもらいました。月曜朝会では、話を聞く態度がすばらしく、私が伝えたいことを一生懸命聞いて、実行に繋げていました。子供たちの1年間のルーブリック（取組目標）『よいところみつけ名人になろう』を子供一人ひとりが実行しました。自分のよさを見付けたり、友達のよさを見付けたりすることが当たり前に行われ、安心感と自信に満ちた、高め合う温かい集団を創ることができました。このことが、探究心をもって自分事で学習に取り組む環境にも繋がっています。運動会で見せた躍動する子供の姿、異学年の子供たちにも声援や拍手を送る姿、合唱団の子供らしい澄んだ歌声、吹奏楽団の小学生とは思えない高度な演奏など、私は安心と信頼の思いで見られていました。特に開三小の伝統を発展させ、先頭に立ち、5年生以下の子供たちを励まし見守りリードしてきた112名の6年生の力は、私の誇りでした。

第二は、保護者のみなさんへです。PTA実行委員会や委員の方はもちろん、保護者のみなさんには、子供たちのために、学校と協働していただいています。温かく時には鋭く学校を見てくださいます。保護者の方の小さなご意見が、私の学校経営の新たなヒントになったこともありました。校外学習の引率協力は、子供の思いや願い・課題を解決する情報収集の積み重ねを支え、探究学習を進める上でとてもありがたいことでした。開三小の保護者ならではの力です。

第三は、地域のみなさんへです。地域のみなさんは子供たちの安全を考えてくださり一人で登下校している子供を見つけると見守りの温かい目を向けてくださいます。また、町会や商店会のみなさんは、子供たちが地域の担い手・創り手としての意識を高め、実践を積めるよう生活科や総合的な学習を核とした教育活動に積極的に協力してくださいました。日本一の生活科・総合的な学習を進められているのは地域のみなさんのおかげです。運動会などの学校行事をたくさん参観して下さり、「開三小は温かさにあふれていて、いい学校ですね」、「開三小の子供たちは素直で元気ですね」「さすがわが母校の子供たちです」などと褒めてくださいます。うれしい限りです。

最後は、本校の教職員へです。私の学校経営計画をよく理解して、『子供一人ひとりに誇りと自信をもたせる学校の創造』に全力で協働しています。次から次へと新しいことにチャレンジする教職員の力は、子供の心の力・学力・体力を確かな伸長に導き、安全で楽しい学校生活を創る上で大きいものでした。

私は多くの人たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。教員として9年間、校長として6年間、開三小で子供たちと過ごしました。このことを思うと心が温かくなります。今日は修了式そして三日後は卒業式です。子供たちは進級・卒業していきます。子供たちにも、謙虚にまわりの人たちに感謝の気持ち『おかげさま（で）』をもつことで、温かい気持ちをもてることを伝えていきたいと思えます。

